

図書室より「新着図書」のお知らせ

第163回 芥川賞受賞

『首里の馬』 高山羽根子

沖縄の古びた郷土資料館に眠る数多の記録。中学生の頃から資料の整理を手伝っている未名子は、世界の果ての遠く隔たった場所にいるひとたちにオンライン通話でクイズを出題するオペレーターの仕事をしていた。ある台風の夜、幻の宮古馬が庭に迷いこんできて…。

『破局』 遠野遥

有名私大で充実したキャンパスライフを送る「私」のどこかいびつな社会観や人間観を通して、ひとりの人物の世界を描く。私を阻むものは、私自身にほかならない。

第163回 直木賞受賞

『少年と犬』 馳星周

人という愚かな種のために、神が遣わした贈り物。傷つき、悩み、惑う人びとに寄り添っていたのは一匹の犬だった…。犬を愛するすべての人に捧げる感涙作！

『クスノキの番人』 東野圭吾

その木に祈れば、願いが叶う…とされているクスノキ。その番人を任された青年と、クスノキのもとへ祈念に訪れる人々の織りなす物語。

『カケラ』 湊かなえ

美容クリニックに勤める医師の久乃は、ある日、故郷の同級生・八重子の娘が亡くなったことを知る。母の作るドーナツが好きで、性格の明るい人気者だったという少女に何が起きたのか…。

『きたきた捕物帖』 宮部みゆき

下っ端の見習い岡っ引きで文庫売りの北一が、相棒・喜多次と出逢い、親分のおかみさんの協力を得て自立し、事件や不思議な出来事を解き明かしていく、優しさあふれる捕物帖。